

2025-Ⅱ「就学前の特別支援教育」

オンライン
受講可
アーカイブ
配信あり



気になる子どものどこを 気にしていますか？

困難さの原因を見つける＝「見立て」をして、子どもたちがうまく生きて行けるように見通しを立てることが私たちに求められているのです。



2025年

10/24金 31金 11/7金 14金

19:00～20:30 全4回

講師： 松本 恵美子（関西国際大学 講師）
特別支援教育士スーパーバイザー

会場： 関西国際大学 尼崎キャンパス

対象： 幼稚園・小学校教諭・保育士・福祉関係職員など。
興味のある方ならどなたでも

料金： 8,800円(全4回分)
事前入金制。キャッシュレス決済もしくは口座振込

定員： 対面 80名 ・ オンライン 200名
(先着順・定員になり次第締切)

締切： 申込締切10/17（金）・入金締切10/20（月）

お申込み・詳細HP



2025-Ⅱ「就学前の特別支援教育」 気になる子どものどこを気にしていますか？

内容

誰かが話をしている最中に、急いでいるあまり、その会話の中に急に割り込んだり、空気を読まずに不用心な一言を言ってその場をしらけさせたり、と、「発達障害のOne Piece」は誰にでもあるものです。だから、誰だって一度や二度「私って発達障害？」と思ったことがあるのではないのでしょうか？

このOne Pieceがいくつか集まって、社会で生きていく事の困難さに繋がる時、このOne Pieceを拾い集めて生きる困難さの原因を見つけることが必要になります。困難さの原因を見つける＝見立て(医学的には診断)をして、子どもたちがうまく生きて行けるように見通しを立てることが私たちに求められているのです。

今回はそのOne Pieceへの気づきと、そのOne Pieceに含まれる子ども達の育ち（特に人関係と言語の発達）の意味について考えたいと思います。



講師

松本 恵美子（関西国際大学 非常勤講師・特別支援教育士スーパーバイザー）

神戸市立知的障害者通所授産施設たまも園元園長。元神戸市福祉職。神戸市ケースワーカー・心身障害福祉センター・児童相談所などで、障がいをもつ子どもと家族への支援に長年携わる。発達障害児の早期発見・早期療育のため、産学共同でのスクリーニングシステムの全市的に導入やスクリーニング後のフォロー教室立ち上げなど、神戸市各区の乳幼児支援体制にかかわる。社会福祉士・モンテッソーリ教育ディプロマ・特別支援教育士スーパーバイザー所持。

回	日程	主 題	内 容
1	10/24 (金)	胎生期から0歳前半 を見る	胎内にいるときから出産にかけて子どもが負っているリスクに気づくにはどのような情報を収集すればよいのか。また、子どもの育ちの基盤ともいえる、“あやし”への子どもの反応の意味について考える。
2	10/31 (金)	0歳後半から2歳の 間を見る	3項関係の誕生から、言語の獲得による“心の中の世界”の誕生のプロセスから、子どものつまずきを見ていく
3	11/7 (金)	2歳から3歳の間を 見る	言葉を介して誕生する知的能力の広がり、わがままと言う自己主張ができることの意味などから子どものつまずきを拾い上げる
4	11/14 (金)	1～3歳、3～4歳の 間を見る	1～3歳の間の友達関係の広がり、その広がりをベースにした3～4歳児の考える力の芽生えについてみる中で子どものつまずきを見る

●特別支援教育士資格更新ポイントは、5回全てリアルタイムで受講された方にのみ2ポイントが付与されます。（申請中）
※オンデマンド配信による視聴は対象となりません。

【予告】
冬クール
開講予定

冬クール

1	1/23 (金)
2	1/30 (金)
3	2/6 (金)
4	2/13 (金)

※お申込み開始は、講座開始1か月前を目安に、
会員の方はDM、非会員の方はHPにてご案内いたします。



←公開講座会員登録(無料)はこちらから

お申込み
問い合わせ先

関西国際大学 社会連携課(尼崎キャンパス)
〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-3-23

☎06-6496-4103 / E-mail: kouza@kuins.ac.jp

